

2024年6月27日

千代田化工建設株式会社  
 総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

**2024年3月期決算説明会 質疑応答要旨**  
**(6月26日開催)**

6月26日に開催致しました、2024年3月期決算説明会(オンライン会議)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

#	質問	回答
1	ゴールデンパス LNG 関連	
	<p>△370 億円の関連影響とは具体的にはどのようなものか。</p> <p>今回計上した費用が戻ることが資料上で示唆されているがどのような形で戻ることか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Zachry 社がプロジェクトから離脱した後に、CIC 社・CB&amp;I 社が完工までに現時点で想定される費用を計上したもの。具体的には、Zachry 社の所管であった建設ポーションの一部および JV における共通ポーションの Zachry 社シェア部分となる。</li> <li>• 上記のコスト負担については、顧客・新 JV 間で協議を行っているものの、現時点で書面での合意に至っておらず、今回の決算では顧客のサポートがない(顧客の負担がない)前提での影響額の計上となったもの。</li> <li>• 顧客・当社・CB&amp;I 社間ではプロジェクト完工に向けて前向きに協議を行っており、今回の計上額の全額を取り戻すべく早期に将来の遂行プランに合意し、採算の見直しを行うことを目指している。</li> </ul>
	完工予定時期はいつか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Zachry 社の Chapter11 申し立ての裁判中のため、未だ工事を本格的に再開する許可が下りていない状況であり、全体の納期への影響はあると考えているが、納期設定についても今後 顧客と新 JV 間で真摯に協議していく。</li> </ul>

#	質問	回答
2	米国案件について	
	2019年3月期において米国で同様に採算が悪化し、債務超過に陥った。今後の米国案件への取り組み姿勢について教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年3月期のキャメロン LNG 案件の採算悪化の経験により米国での工事リスクの大きさを学び、ゴールデンパス LNG では工事ポジションを JV パートナー (CB&amp;I 社・Zachry 社) のランプサム契約とし、当社は基本的に工事リスクを取らない建付けとした。ただ、結果的にはプロジェクトの長い工期を経る中で、パートナーが事業環境の変化などに財務的に耐えることができず、この度の決算に至っている。</li> <li>米国案件については、LNG 案件のみならず、脱炭素分野などでも主戦場になり得ると考えており、米国は引き続き重要な地域と考えている。過去の経験を踏まえ、工事ポジションについて、顧客との協議の中でリスク・責任分担を如何に行うかがポイントとなると考えており、当該リスクをマネージできる条件を見出せば米国案件に引き続きチャレンジしたい。</li> </ul>
3	自己資本	
	自己資本比率が低下しているが、財務支援を受ける考えはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点では考えていない。2024年3月期決算は財務健全性が著しく低下した状態となるが、その要因の大半はゴールデンパス LNG に関する影響を考慮したことによるものであり、早期に将来の遂行プランに合意することで自己資本の水準を回復することを目指す。</li> <li>尚、現時点で約 1,000 億円程度の手元現預金を有しており、会社の業務運営には支障はない。</li> </ul>
4	新規事業	
	新規事業への取り組みについての考えを教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランジションエネルギーとして当面重要なエネルギー源となる LNG などの既存分野を着実に遂行することに加えて、水素・ライフサイエンスや先端素材、Digital O&amp;M など当社の知見を活かす形での活躍の場が広がってきていると考えている。</li> <li>ゴールデンパス LNG の事象を受け、次期中期経営計画については今一度レビューを行うが、</li> </ul>

#	質問	回答
		新しい領域にもチャレンジしていくことで、ポートフォリオの多様化に積極的に取り組みたいと考えている。

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。